

市民協働課で交付決定した事業(令和4年度)

No.	団体名	事業名	事業概要
1	新潟県建築士会新潟支部 新潟福祉まちづくり研究会	誰もが生きやすい地域づくりを目指して	高齢者、障がい者、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる、そのヒントとなる勉強会を開催し、その後参加者で意見交換を行う。
2	新潟市防災士の会NBJ	今から支える防災の備え「Pocket Book of Bousai 防災手帳」を活用した防災・減災啓発活動	「Pocket Book of Bousai 防災手帳」を作成するとともに、市内各所の防災イベント等において、手帳をツールとし、防災・減災の啓発活動を行う。
3	特定非営利活動法人は一もに一プロジェクト	コロナ禍での新たな学校保健歯科指導の構築	コロナ禍での新たな歯科保健指導のあり方として、個々で楽しみながら学習できるタブレット端末を用いた学習支援を見出し、モデル校で実施する。
4	新潟オーガニック給食推進協会	子どもの食生活基盤づくり事業	健康・食への知識や関心の底上げを行い、地域の子供たちの健康を支援するとともに、地域住民に対して広く情報を発信する。

事業報告書

(1) 事業名	誰もが生きやすい地域づくりを目指して！
(2) 事業の実施期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年2月10日
<p>(3) 事業の実施内容</p> <p>第1回：勉強会</p> <p>○第1部：「介護を巡る制度について」 介護保険制度の変化、国交省の取り組みの内容</p> <p>○第2部：岐阜建築士会「福祉まちづくり建築士制度」について</p> <p>○第3部：住宅改修事例の紹介</p> <p>日 時：令和4年9月24日（土）14：00～16：30</p> <p>場 所：新潟ユニゾンプラザ 大会議室 ※リモート併用開催</p> <p>講 師：一級建築士 下川滝美氏（岐阜県建築士会）</p> <p>参加人数：58人 医師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、看護師、建築士、福祉住環境コーディネーター、行政、一般市民</p> <p>第2回：ワークショップ</p> <p>○「介護が必要になった人が在宅で生活するためにどうしたら良いか」を、事例についてケアマネジャー、理学療法士、福祉用具専門相談員、建築士が知恵を出し合い、ディスカッションしながらプランニングしていくワークショップを行なった。</p> <p>日 時：令和4年12月10日（土）14：00～17：00</p> <p>場 所：新潟市総合福祉会館 大集会室</p> <p>参加人数：24人 ケアマネジャー、理学療法士、福祉用具専門相談員、建築士、福祉住環境コーディネーター、一般市民</p>	
<p>(4) 事業による成果及び今後の課題</p> <p>【成果】 勉強会やワークショップを通じて、多くの業種の方の意見や市民の声を聞くことが出来た。異業種の垣根を越えて協力し合うことが大切だと感じた。住宅改修事例をたくさん学ぶことが出来た。</p> <p>【課題】 勉強会やワークショップは、今後も継続していくことが重要だと思う。コロナ感染対策をしながら、これからも定期的に開催していきたい。</p>	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の充	摘 要
			当先	
報償費	60,000	50,012	◎	9月24日 講師謝金 @30,000×1人 コ-デ イネ-ター @5,568×3人 講師お土産代 @3,308
報償費	120,000	5,568		12月10日 コ-デ イネ-ター @5,568×1人
会場費	39,840	105,450	◎	9月24日 新潟ユニソンプラザ 66,080円 リハーサル 26,050円 設備等追加 13,320円
印刷費	54,600	17,193		
食糧費	20,000	2,310	◎	9月24日 講師他ペットボトル 2,310円
食糧費	2,200	4,209	◎	12月10日 ペットボトル 4,209円 (ケータリング用皿含む)
消耗品費	2,000			
合 計	298,640	184,742		補助対象経費 181,434円

※ 補助対象経費は、すべての経費を計上してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	NBJ オリジナル 今から始める防災の備え「Pocket Book of Bousai 防災手帳」を活用した防災・減災啓発活動
(2) 事業の実施期間	令和4年 6月 1日 ～ 令和5年 3月 14日
5月	第1回 編集会議
6月	第2回 編集会議
8月	第3回 編集会議
9月	冊子 原稿、のぼり旗 完成 ・西区 社協 イオンのひろば 防災講座 20日 ・秋葉区 育ちの森 防災講座 21日
10月	・南区 庄瀬コミ協防災訓練 2日 以上コピー対応 冊子印刷完成 17日 ・江南区 横越地区公民館祭 29日、30日 ・西区 西区自治協防災ワークショップ 28日 ・西区 西区ふれあい あきまつり 29日
11月	・中央区 PLAY!PLAY!PLAY! ゆいぽーと 5日 ・南区 女性のチカラでもっとひろがる!地域防災力 6日 ・西区 大野小学校みんなで防災 12日
12月	・西区 ママさんとちびっ子ぼうさいタイム 10日 ・秋葉区 プチ防災講座 24日
3月	・NBJ 活動報告、情報交換会 5日 ・南区 子育てひろばモモ 防災〇×マンと学ぼう 14日
<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を加えつつ直接冊子を手にとってもらうことで、防災を特別にとらえずとも日常の暮らしの中で「備え」ができるという気付きとしてもらうことが出来た。 ・これなら自分でもできる、「備え」の発想を家族で共有しよう、との声をたくさんもらえた。 ・NBJ（新潟防災女子）の、防災士の、存在を認知してもらい、新たな講演依頼に繋がった。 ・メンバーの防災活動に向かう共通の、有効な、ツールとなった。 ・市民への防災、減災意識の啓発に繋がったと実感できた。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子を多数の部数 地域防災に使いたいとの依頼を受けた際の対応に苦慮→取り決めを決定 ・活用できる場、イベント、講演などの情報収集方法及びメンバーへのイベントなどの周知方法、参加メンバーの募集方法 要検討 ・協力メンバーの増員 ・次年度に引き継ぐ資金調達 ・今後のアップデートの時期 それぞれ要検討 	

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	100,000	100,000	新潟市よりの補助金
自己調達	776	776	メンバー有志よりの寄付金
合 計	100,776	100,776	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
印刷製本費	60,000	60,000		冊子 1000部
登り旗作成費	15,400	15,400		登り旗 8枚 代金
消耗品費	3,848	3,848		ラベルシール4枚 3518円、 マークシール、ペン330円
コピー費	11,850	11,850		A4 180枚 1800円、 A4カラー 670枚 10050円
物品資料費	8,370	8,370		防災備蓄展示資料としてインスタントお汁粉、甘酒 279円計30個
食糧費	1,308	1,308	○	10月29日昼食3名分、10月30日昼食1名分
合 計	100,776	100,776	776	

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、
収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	コロナ禍での新たな学校保健指導の構築
(2) 事業の実施期間	令和5年7月15日～令和6年2月10日
<p>(3) 事業の実施内容</p> <p>【学校での活動】</p> <p>同テーマの2年目にあたる。今年度は昨年度に引き続き歯科保健教育モデル校となる新潟市立岩室小学校でモデルケースを実施しタブレットを使用した歯科保健指導を実施した。当初新潟小学校での事業実施も予定していたが調整がつかず見送りとなった。</p> <p>岩室小学校での保健指導を以下の日程で実施した。 日 時：令和4年10月27日 9:35-10:20、および10月28日 14:05-14:50 場 所：新潟市立岩室小学校 参加者：小学校2年生18人（10月27日）、小学校5年生20人（10月28日） 実施内容は以下の通り。</p> <p>＜2年生＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) あいさつ (2) 絵本の読み聞かせ：幡本 (3) タブレットを使用した保健学習：葭原 (4) クイズ：幡本 (5) まとめ <p>*アンケートを含む</p> <p>＜5年生＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) あいさつ (2) DVD（歯肉炎予防）：葭原 (3) ブラッシングおよびデンタルフロスの使い方：幡本 (4) タブレットを使用した保健学習：葭原、担任の先生 歯肉炎予防のために～みんなで工夫できることや取り組めること～ (5) まとめ <p>*アンケートを含む</p> <p>＜学校での活動の評価＞</p> <p>5年生の学習後、生徒自身に歯肉炎予防にむけて頑張ることを2項目上げてもらい、一ヶ月後良くできたかどうかを自己評価で確認した。 その結果、総合計14人、28項目のうち、○は53.6%、△は42.9%、×は3.6%であった。デンタルフロスの使用については12人が頑張ることに取り上げ、○は41.7%、△は58.3%、×は0%であった。</p> <p>＜事業準備にあたって打ち合わせ実施日＞</p> <p>資料作成打ち合わせ：9/30、10/25</p> <p>＜市内小中学校への普及＞</p> <p>2年間の活動を踏まえ、新潟市歯科医師会、および新潟市教育委員会保健給食課と市全体への普及をテーマに打ち合わせを行った。今年度、手始めに、作成した資料の一部を新潟市教育委員会保健給食課を通じ、児童・生徒が日常的に学習ソフトとして使用しているロイロノートで使用できるよう手配していただいた。</p>	

2) 研修会の開催

若い世代（子どもたち）への情報発信のあり方をテーマに研修会を開催した。

日時：令和4年11月1日 7:30-21:00

場所：新潟大学歯学部

参加者：はーもにープロジェクト会員、新潟市歯科医師会会員、新潟大学歯学部学生：25人

講師：

新潟県庁 黒崎友介氏（演題：アイデア・企画の作り方）

新潟撫子撮影会代表、兼モデル 仲川しおり氏（演題：SNSを、使う）

(4) 事業による成果及び今後の課題

1) 事業の成果

歯肉炎予防について学習評価を行った。自己評価ではあったが成果は認められた。また、児童へのアンケート調査ではいずれの学年においても自動全員が授業内容を評価していた。

今回の新潟市歯科医師会や新潟市教育委員会との打ち合わせにより、市内小中学校への普及の流れを構築することができた。令和5年11月に市内小中学校の全養護教諭を対象とした研修会で説明する時間を調整していただくこととなった。

若い世代へのSNSを用いた啓発について新たな視点を持つことができた。双方向の情報交換により結果的に情報が広がっていくようである。

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
新潟市地域活動補助金	100,000	100,000	
自己資金	34,900	13,208	
合 計	134,900	113,208	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
歯科保健指導 ツールの開発謝 金	30,000	20,000		10000円×2人
歯科衛生士さん への謝金	18,900	12,600		6300円×2回
講師謝礼	20,000	30,000		10000円(黒崎)+20000円(仲川)
消耗品	40,000	50,608	◎	インク、デンタルフロス、消毒用品等
交通費	6,000	0		他の事業や出張等に併せて打ち合わせを 実施したので無料
リーフレット、およ びウェブコンテン ツ作成謝礼	20,000	0		はーもにープロジェクトのスタッフが作成し たので無料
合 計	134,900	113,208		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	子どもの食生活基盤づくり事業
(2) 事業の実施期間	2023年1月1日～2023年3月31日
(3) 事業の実施内容 1月22日（会場：新潟ふるさと村にて）佐渡市農林水産副部長の中川克典氏講演 佐渡市学校給食事例発表会 参加者：31名 内容：佐渡市の学校給食の事例発表。佐渡市独自の学校給食・食育への取り組みが紹介された。食べる事は田んぼと繋がること、地域と繋がることというように、地域と食を結び付けるような内容で、幅広い視点から食についての学びを訴えることが出来た。 3月12日（会場：新潟市北地区公民館）井上まゆみ氏講演 ～食べる事は生きる事～ 参加者：大人56名 子ども27名 内容：体の機能と食の関わり、より健全な食生活を目指すにあたって基本となるような内容であった。参加者は井上まゆみ氏のファンの方も多く、当協会を知って頂くいいきっかけとなった。	
(4) 事業による成果及び今後の課題 計2回にわたる講演会による子どもの食生活基盤づくり事業は、当協会のメンバー以外の方も多く参加いただき、地域住民へ対する情報発信ができた。 内容に関しては満足頂いた方が多かった。 小さなお子さん連れの母親の姿も目立ったが、子どもがいると集中して講演を聞くことが出来ない、同会場に子どもがいる事で講演に集中できなかったという声もあがった。 キッズスペースの運用について課題が残った。次回からは ZOOM などを使用したオンライン配信にて各自宅にてゆっくり見て頂くことや、子ども用の遊ぶ部屋を別で用意することを検討している。	

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	100,000	100,000	新潟市からの補助金
参加費	11,000	0	参加費徴収ナシ
自己負担額		341	当協会の活動経費より支出
合 計	111,000	100,341	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	35,000	35,000		講師謝礼金 @ 35,000円×1人
旅費	30,000	6,900		交通費:井上まゆみ氏 1000円 宿泊費:佐渡市農林水産課様 5,900円
印刷製本費	10,000	40,773	◎	チラシパネルデザイン:33,000円 チラシ印刷代:7737円
賃借料	7,000	3,500		北地区公民館使用料:1500円 プロジェクターレンタル料:2000円
食糧費	9,000	8,501		
消耗品費	20,000	545		封筒
通信費		5,112		切手(チラシ郵送)
合 計	111,000	100,341		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、
収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。